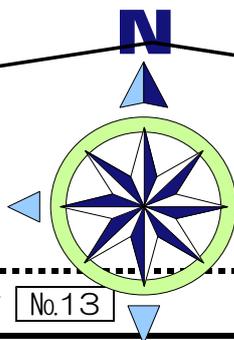


羅針盤



Compass

13

いわき市立好間中学校 3学年通信 No.13

令和3年(2021年) 5月6日(木)発行



誰もいない教室 — GW期間中、みんなはどんなふうにご過ごしていたのでしょうか。(5月2日 3の2)

県教委が作成した『家庭学習スタンダード』が、数年前に全家庭に配付されました。そこには R-PDCA を通して自己マネジメント力をつけることが大切と記されていました。

Plan(計画) Do(実践) Check(反省) Action(次の行動へ)の頭文字からなる PDCA と、自分を知る R(Research)からなっています。

定期テストで言えば、「授業やテスト前の勉強を通して身につけている自分の現段階の学力を、テストを通して確かめる。」次に「テスト結果をもとに自分の力や課題を知り、これから

の授業の受け方や家庭学習の仕方を改善していく」ということになります。

3年生にとって進路を決める大切な1年がスタートしました。家庭学習において、目標を定め取り組むP・D・Aが大切なことは自明のことですが、自分の力を知り、方法を改善していくC・Rがとても大切です。

明日、中間テストの範囲が発表され、学活で学習計画を立てます。同じ様式に書いてきた計画づくりも3年目を迎えます。これまでとは違った学習計画が描き出されるのでしょうか。

R-PDCA

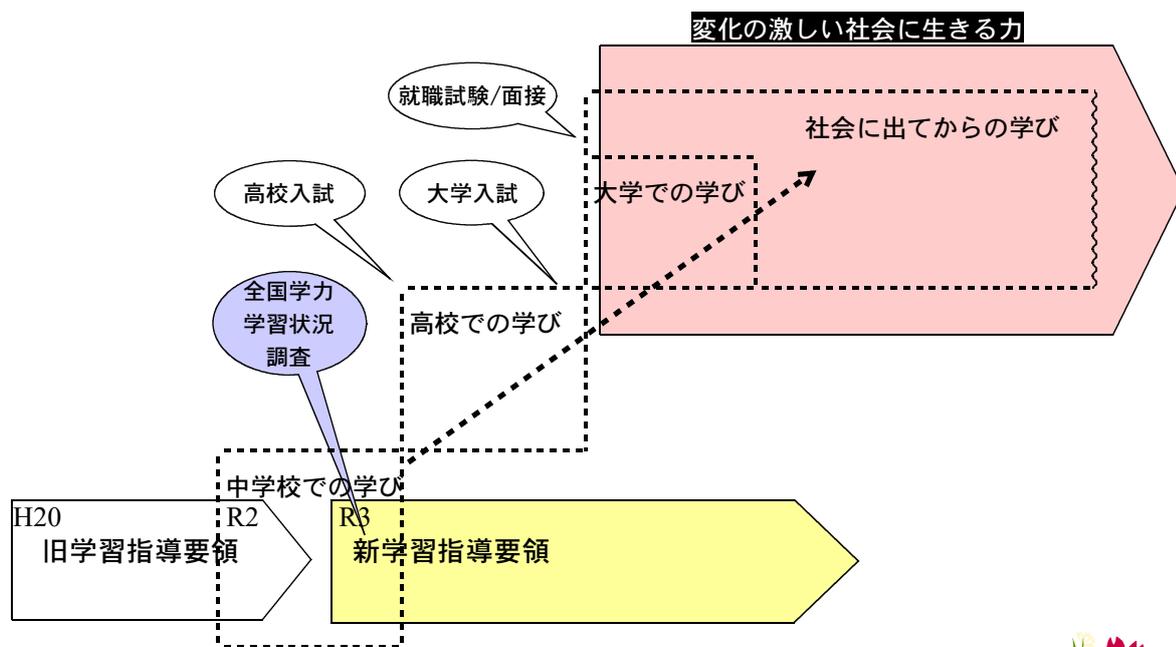
中学3年生の学び③

—テストが変わる—

学年通信No.11(4/28)では大学入試改革が始まっていると識者の話を紹介しました。今年から始まった「大学入学共通テスト」を見ても、実現に至らなかったものの、国語の記述式問題や、英語の「読む・聞く・書く・話す」の4技能の力を知るために各種検定試験の活用が問いざたされました。慎重な検討を経ながら、今後大学入試のあり方が変わっていくのでしょうか。

大学入試が変われば高校入試も変わっていきます。そして、すぐにといいわけではありませんが、中学校で行われる各種試験も変わっていくことが予想されます。事実的な知識の習得を問う問題に加え、各種知識を総合し概念的な理解を問う問題などを増やすことが求められているからです。

文部科学省の全国学力・学習状況調査が5月27日に2年ぶりに実施されます。学力テスト(国語と数学)と生活アンケートが行われ、全国の全ての中学3年生が対象です。このテストでは、国が示した新学習指導要領を踏まえた出題がなされます。2年前のテストでは、基礎知識と活用力を一体的に問う出題形式になり、活用力を意識し日常生活の場面設定に基づく出題が中心となりました。特に国語では架空の「全国中学生新聞」の記事や投稿欄が題材となり話題になりました。今回の全国学力調査には、今後の高校や大学入試の有り様を示すヒントが隠されているかもしれません。



お知らせ

PTA安全互助会掛金の納入について

先日、集金案内と学年集金袋を配付しました。
金額を確認の上、来週中にお納めください。
なお、補償の詳細についてはPTA総会要項をご覧ください。



【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338